

令和4年度における森林環境譲与税の用途について（三重県）

(1)事業区分	(2)事業名	(3)事業総額（千円）			(4)事業内容	(5)主な実績
		(A)+(B)	(A) 森林環境譲与税（千円）	(B) うち他の財源（千円）		
事業支援システムの構築	新たな森林経営管理体制支援事業（森林資源情報の整備、活用促進）	11,731	11,731		市町が主体となった「森林経営管理制度」が円滑に進むよう、森林資源情報の精度向上を図るとともに活用を促進	・伐採届情報のGISデータ化：1,209件 ・レーザー測量成果の森林クラウドへの登録：764.4km ² ・森林境界明確化成果のGISデータ化：1,443.5ha
	森林情報利活用促進事業	1,580	1,580		森林計画図や航空レーザー測量の森林資源解析成果を公開GIS上で閲覧できるようにすることで、詳細な森林情報をもとにした森林の適切な管理を促進	・森林資源解析成果の公開：1件（航空レーザー測量により得られた詳細な森林のデータ及び森林計画図を「Mie Click Maps」へ反映）
アドバイザー、人材派遣等	新たな森林経営管理体制支援事業（市町の指導及び体制整備への支援）	24,200	24,200		県域の林業団体に委託して「みえ森林経営管理支援センター」を開設し、市町からの相談対応や巡回指導、研修会等を実施	・支援市町数：29市町 ・森林所有者に対する意向調査を実施した市町数：14市町 ・経営管理権集積計画を作成した市町数：6市町 ・市町村森林経営管理事業を実施した市町数：6市町
	新たな森林経営管理体制支援事業（市町の業務推進への支援）	132	132		市町が森林経営管理法に基づく業務を実施するうえで、森林所有者や民間事業者等の関係において発生する法的課題に対応できるよう法律相談窓口を設置	・法律相談件数：1件
森林整備の支援等	新たな森林経営管理体制支援事業（林業の省力化と安全性の向上のための共同研究開発）	1,741	1,741		紀伊半島3県が連携した林業の省力化や労働安全性向上など、森林整備を促進するための課題解決に向けた共同研究を実施	・調査・研究の実施：2件（紀伊半島3県におけるICTを活用した森林整備促進ソフトウェア開発、簡易で安価な林内通信機器の研究・開発）
	新たな森林経営管理体制支援事業（少花粉種子・苗木の増産体制の確立）	1,000	1,000		花粉の少ない花粉苗木による確実な再造林のための少花粉スギ及びスギ・ヒノキ特定母樹の種子の生産体制の強化	・生産体制の強化：1式（種子の精選に必要な米選機や電子天秤、種子の保存に必要な冷凍冷蔵庫などの機材を導入）
	新たな森林経営管理体制支援事業（県業務推進費）	239	239		市町の業務の推進を支援するために必要な県の事務費	-
人材育成・担い手対策支援	新たな森林経営管理体制支援事業（森林整備を担う人材の確保）	1,505	1,505		就業ガイダンス等の場を活用した林業の担い手の確保	・首都圏等での就業ガイダンスへの出展：5回（参加者：61名）
	豊かな森と地域を担うづくり事業	476	476		高校生を対象に、将来の進路として「林業」を選択してもらうため、就業のきっかけとなる職場体験研修を実施	・職場体験研修の開催：5回（参加者：32名）
	みえ森林・林業アカデミー運営事業	35,689	35,648	41	・「みえ森林・林業アカデミー」において、主に既就業者を対象とした3つの基本コースのほか、選択講座や今後の適正な森林管理の推進に重要な役割を果たす市町職員向けの講座を実施 ・高校生等の就業希望者を対象とした林業現場の体験のほか、中大規模木造建築物等の設計講座など、専門的、実践的な知識、技術向上を行う選択講座を開催	・基本コース受講者数：30名 ・選択講座受講者数：延べ149名 ・市町職員講座受講者数：13名（9市町） ・木造建築士養成講座修了者数：6名 ・県・市町の営繕担当者等向け研修会受講者数：24名
	みえ森林・林業アカデミー拠点整備事業	312,571	89,571	223,000	「みえ森林・林業アカデミー」における効率的な講座運営と充実した教育環境を実現するため、拠点施設の整備を実施	・令和5年3月完成 ・県産材利用量340m ³
木材利用の推進	「もっと県産材を使おう」推進事業（公共建築物等の非住宅分野における県産材利用拡大）	6,187	4,364	1,823	県産材の利用拡大を図るため、公共建築物等に活用可能な新製品開発等の支援や公共建築物等の木造・木質化に向けた相談窓口の設置	・普及啓発実施市町数：29市町 ・木造・木質化にかかる相談窓口への相談件数：10件 ・新製品の開発支援：2件
計		397,051	172,188			-